

# 北海道 自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会  
編集兼発行人 辻 澤 英 隆  
札幌市東区北三〇東一(郵便番号 065-0801)  
電話 (011) 721-4578



富良野 ファーム富岡



## 新年のご挨拶

北海道自家用自動車協会連合会

会長 竹内 巖

新年、明けましておめでとうございます。2026年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をご家族とともに迎えられましたこと、心からお慶びを申し上げます。

平素は、北海道自家用自動車協会連合会(以下、当連合会)に対しまして、深いご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の世界経済はランプ関税による影響が顕在化し、不確実な見通しの中で、相対的には下振れリスクが大きくなりました。我が国におきましては、10月に自民党の新しい総裁が首相に選出され、維新の会との連立政権が誕生しました。日本経済ですが、輸出が増加した一方で、個人消費は最も弱い状況となりました。物価高による実質可処分所得の伸び悩みや節約志向の強まりなどが背景となって、足元の物価上昇は食料品を中心とした供給ショックが大きくなりました。

移動の道具として普及している自動車の保有台数(軽自動車を含む)についてですが、令和7年11月末現在、全国で約8270万台、道内では約374万台を数えています。今や自動車は、経済・産業のみならず、日常生活において、あらゆるところで利用される必要不可欠なものとなっています。その反面、地球環境に大きな影響を与える排気ガスや騒音等の公害問題、さらには痛ましい交通事故の多発が大きな社会問題となっています。

道内における交通事故発生状況で

ですが、関係機関・団体等の皆様の交通安全への取り組みや懸命な努力により、対前年比では発生件数、負傷者数は減少しているものの、死者数は増加しています。交通事故により、多くの尊い命が犠牲になっていることは、誠に痛ましいものがあります。

当連合会としましては、交通事故防止対策を最重要な使命ととらえ、道民・会員に対する安全啓発材の配布、優良運転者の表彰、街頭啓発、交通安全旗の配布、ラジオを通じての広報活動、北海道自家用新聞の刊行等、特に、冬期間の事故多発に対する「冬期交通事故防止キャンペーン」を実施する等、全力で取り組みを進め、本年も引き続き継続してまいります。

自家用自動車の健全な普及発展と輸送秩序の確立を図るため、事業の柱となるナンバープレートの交付、封印の取付け業務、無保険バイクの街頭指導、自動車登録の相談、自動車共済事業等の業務を本年も的確に行ってまいります。

また、整備不良による自動車事故を防止するため、自動車ユーザーの皆様が点検整備の重要性について周知を図るとともに、「自動車点検整備推進運動」、「不正改造車の排除運動」について、積極的に推進してまいります。

観光振興や地方振興を目的とした「地方版図柄入りナンバープレート」は、平成30年10月に第1弾として、全国41地域毎に図柄設定されたナンバープレートが交付開始されました。北海道は、第2弾として令和2年5月に、新たに追加された17地域

の中で、「苦小牧」「知床」の2地域が交付開始されました。

全国版図柄入りナンバープレートにつきまして、令和7年11月時点で、「花柄ナンバー」は、北海道では約5万4千件、「大阪・関西万博ナンバー」は、約5千5百件、「園芸博覧会記念ナンバー」は、約700件の申込状況となっています。また、昨年5月には、新たな追加地域として「十勝」の他4地域の交付が行われました。

このほか、全国的な課題として、税制改正に対する取り組みを行っています。(1)環境性能割の廃止若しくは税額確認の簡素化、(2)経年車に対する課税重課措置の廃止、(3)自動車重量税の廃止若しくは当分の間税率から本則税率の適用へ、(4)クリーンエネルギー自動車の取得・保有・走行段階車体課税の優遇等、(5)「当分の間税率」の廃止およびタックス・オン・タックスの解消、(6)営業用・自家用格差の撤廃、などの事項について、政府・国会等の関係機関に要望しています。

当連合会は、自動車ユーザー団体として、幅広い事業や課題について積極的に取り組み、自家用自動車の健全な発展に努めてまいりたいと考えています。

今後とも、当連合会の運営に対し、皆様のご支援・ご協力をお願いするとともに、新しい年が平和で希望の持てる良い年になりますよう、心から念願するものであります。終わりに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。






## 年頭の辞

### 北海道運輸局

#### 局長 井上 健二

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。「北海道を元気に」、そして「北海道から日本を元気に」との想いで、本年も、全力で北海道の運輸・観光行政を推進してまいります。昨年、大阪・関西万博の開催や好調なインバウンド需要を背景に、国内外の人流・物流が大きく活発化し、観光産業や地域経済に明るい兆しが広がりました。また、自動車分野では、カーボンニュートラルの推進とともに、電動化や自動運転の取組が着実に進んでいます。こうした流れにより先進技術の導入が広がり、次世代モビリティへの移行を実感する一年となりました。

「自動車」は、国民生活において欠かすことのできない移動・輸送手段であり、地域の暮らしや経済活動を支える自動車運送事業者をはじめとした関係者に求められる役割は、益々大きくなっていると認識しております。一方で、燃料費や物価の高騰は依然として事業者の経営を圧迫し、加えて「物流2024年問題」への対応やドライバー不足、交通空白地域の解消など、運輸業界は厳しい環境に直面しています。こうした中、安全・安心の確保をはじめ、北海道運輸局が進める行政に対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。運輸・交通・観光に関わる全ての事業において、安全・安心の確保は基本かつ最重要事項です。引き続き、「自動車」に関わる皆様とともに、事故防止や安全管理の徹底に取り組むとともに、自動車車検等の諸手続の一層の利便性向上にも努めてまいります。



## 年頭の辞

### 北海道環境生活部

#### 部長 谷内 浩史

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、謹んで、ご挨拶を申し上げます。竹内会長をはじめ、北海道自家用自動車協会連合会会員の皆様には、日頃から交通安全対策の推進に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、貴連合会をはじめ関係機関や団体の皆様、道民の皆様方の長年にわたる交通安全の取組により、道内の交通事故死者数は昭和46年の889人をピークに、平成25年以降100人台で推移し、令和6年には統計が残る昭和22年以降、最少の104人となりました。しかしながら、依然として多くの方々が痛ましい交通事故の犠牲となっており、昨年は交通事故死者数が増加に転じるなど、改めて交通安全運動にしっかりと取り組んでいく必要があると考えています。交通事故のない安全で安心な社会の実現は全ての道民の願いです。道といたしましては、道民の皆様方の交通安全意識を高めて交通事故を

に、事故防止や安全管理の徹底に取り組むとともに、自動車車検等の諸手続の一層の利便性向上にも努めてまいります。

安全・安心の確保の面では、警察等の関係機関と連携し、飲酒運転ゼロや重大事故削減、外国人運転者のレンタルカーによる事故の防止に向けた取組を強化し、大型車のタイヤ脱落事故防止に向け、確実な整備・点検の徹底を呼びかけるほか、「自動車点検整備推進運動」や「不正改造車排除運動」を通じて、安全性・環境性能の維持に資する啓発活動を行います。さらに、街頭検査による無車検車排除にも引き続き取り組みます。

利便性向上の面では、自動車検査証の電子化や特定記録等事務委託制度の活用により、運輸支局への出頭が不要となる手続が拡大しています。これらの機能を最大限にご活用いただくよう、「自動車保有関連手続のワンストップサービス（OSS）」の普及促進にも努めてまいります。

防止するため、「ストップ・ザ・交通事故」を年間スローガンに掲げ、関係機関・団体の皆様のご協力の下、道民総ぐるみの交通安全運動を展開し、交通事故の犠牲者を一人でも減少させるよう粘り強く取り組んでまいります。

また、昨年は平成27年に発生した砂川市における飲酒運転によるひき逃げ事故から10年、「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」施行から10年の節目の年であり、道では、関係機関、団体とともに、飲酒運転の根絶に向けた様々な取組を推進してまいりましたが、未だに飲酒運転による悲惨な交通事故は後を絶たない状況です。

道としては、今後も「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」を合言葉に、飲酒運

また、走る広告塔として地域の魅力を発信する地方版図柄入りナンバープレートについては、昨年「十勝」の交付が開始され、既存の「知床」「苦小牧」とあわせて、地域の振興や観光の一助となっておりま

す。引き続き関係自治体と連携し、その普及促進に努めてまいります。

これからも地域の皆様とともに、北海道運輸局は、安全・安心で利便性の高い運輸・観光行政を推進し、北海道の発展に全力を尽くしてまいります。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和八年 謹賀新年

北海道自動車共済協同組合	北海道自動車標板協議会	北海道自家用自動車協会連合会
理事長 松 浦 良 一	会 長 竹 内 巖	会 長 竹 内 巖
副理事長 吉 田 裕	副会長 吉 田 裕	副会長 吉 田 裕
副理事長 徳 井 裕 昭	副会長 小 藤 田 良 彦	副会長 徳 井 裕 昭
専務理事 辻 澤 英 隆	専務理事 辻 澤 英 隆	専務理事 辻 澤 英 隆
☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2 (721)5233	☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578	☎065-0030 札幌市東区北30条東1丁目1-1 (721)4578

(一社) ☎070-0902 旭川市春光町一〇 旭川地方自家用自動車協会 会 長 吉 田 優 裕 専務理事 山 田 優 裕	(一社) ☎090-0836 北見市東三輪三一二五―六 北見地区自家用自動車協会 会 長 小 柳 亨 信 専務理事 阿 知 良 雄 二	(一社) ☎084-0906 釧路市鳥取大通六―一―一 釧根自動車協会 会 長 近 藤 伸 也 専務理事 池 本 裕 祥	(一社) ☎080-2459 帯広市西十九北一―八―三 帯広地方自家用自動車協会 会 長 徳 井 裕 昭 専務理事 柴 田 信 幸	(一社) ☎050-0081 室蘭市日の出町三―四―一―一 室蘭地区自動車協会 会 長 三 上 慈 誉 専務理事 関 根 淳	(一社) ☎041-0824 函館市西桔梗町五五五―三三 函館地区自家用自動車協会 会 長 戸 沼 利 淳 専務理事 齋 藤 利 雄	(一社) ☎065-0030 札幌市東区北三十条一―一―一 札幌地区自家用自動車協会 会 長 竹 内 巖 専務理事 辻 澤 英 隆
---	---	--	---	--	--	---



## 道内自動車関連団体

### 自動車税制改正求め街頭活動

道内自動車関連団体が協力して、自動車税制改正に関する街頭活動を実施した。自動車税制の実態を周知し、税制改正の実現を目的にした活動で、通行人に対して税制の問題点を訴えた。

日本自動車連盟（JAF）札幌支部は、JR札幌駅周辺で街頭活動を実施。駅の利用者ら400人に対して、税制改正を訴えるチラシを配布した。



JR札幌駅での街頭活動

## 経営多角化事業承継

### SS過疎地対策多方面で支援

道局  
海産  
北経

ガソリンの需要低下や後継者不足などが原因で、ガソリンスタンド（SS）が苦境に立たされている。2024年度末時点の道内のSS数は1994年比で約6割まで減少した。北海道経済産業局は、SSの経営多角化や事業承継などの支援や、自治体との連携などの対策を促すことで、地域のエネルギー供給拠点を維持しようとしている。

道内のSS数は1994年の3045カ所をピークに減少し、2024年度末には1641カ所まで落ち込んでいる。また、24年度末時点で、道内の4割に当たる73市町村が、市町村内に給油所が3カ所未満

振興会と函館軽自動車協会、日本自動車連盟（JAF）函館支部と合同で実施。自販連函館支部の河村祥史支部長と武田教久副支部長、4団体の事務局代表者が向山議員を訪問した。

河村支部長は「車の購入が進むよう税負担を軽減するべきと強く要望する」とあいさつ。自販連函館支部の松浦眞人専務理事が要望内容を説明した。

向山議員は「車体課税について、高市総理も総裁選で自動車環境性能割の見直しを明言している。多くの自動車ユーザーの皆さんが自動車関係の税に対し負担を感じている。公平・中立・簡素な税負担の在り方について、しっかりと取り組んでまいりたい」と述べた。

の山積した課題に対して、こうした事業者の自助努力のみで対応するのはもはや困難な状況となっている。一方で、道外のSS事業者は、経済産業省の補助金を活用し、SS内に整備工場を設置したり、コンビニやカフェなどを併設し、収益改善などにつなげた例が出てきている。北海道経済産業局では、こうした事例を参考にしつつ、各地域やSSの特徴を踏まえた対策に乗り出そうとしている。

12月15日には、自治体やSS経営者、大学教授などが参加し、SS維持に向けて話し合う「SS過疎地対策セミナー」を旭川市で開催した。こうしたセミナー開催を契機に、各地域でSS過疎地の課題認識や対応促進につなげる考えだ。



## 令和7年飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール受賞作品決定

道内各地の高校生から寄せられた672通のメッセージから、厳選審査の結果、最優秀賞（北海道知事賞）1作品、優秀賞（北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞）3作品などが決定しました。

同コンクールを毎年実施している北海道交通安全推進委員会では、高校生の願いを受け止め、このメッセージを活用しながら、「北海道からみんなで飲酒運転を根絶しましょう」と呼びかけています。

### 北海道知事賞

飲酒運転「させるあなた」「とめないあなた」そして「するあなた」  
みんな一緒にみんな同罪、みんなの意識で全員の未来が救える。  
根絶しよう飲酒運転

（北海道小樽水産高等学校2年 川島 匡遥さん）



## 白地風のナンバーの軽自動車、65・9%がトラブルを経験

ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの際に発行された、いわゆる「白地風ナンバープレート」を装着した軽自動車ユーザーの6割超が、過去1年間でトラブルを経験していることがオートリースを手掛けるナイルの調査で分かった。「有人料金所で、普通車料金を請求された」といった事例が多いという。

白地風ナンバープレートは、期間限定で交付された特別なデザインのものが多い。中には「警察や取り締まりで偽装を疑われた」（12・30人）だったが、このうち、65・9%が「直近1年でトラブルがあった」とした。

同社は11月12・27日にインターネットを通じて調査。2621人からは、料金所で普通車料金を請求

新しい技術と信用のトップメーカー

自動車ナンバープレート

小松自動車工業株式会社

札幌営業所  
及工場

札幌市東区北30条東1丁目1-1  
〒065-0030 電話 011-752-8592(代表)

本社  
及工場

東京都品川区東品川4丁目8番12号  
〒140-0002 電話 03-3474-0211(大代表)

「しんらい」と「あんしん」をお届けします。

北自共の総合自動車共済・自賠責共済

全道に安心のサービス拠点

示談交渉サービス

相手方との示談交渉や書類作成など一貫して対応

充実のロードサービス

24時間365日対応・等級に影響なし

顧問弁護士

訴訟対応への協力体制で事故解決へ



あんしん・ゆとり・たすけあい みなさまのカーライフをサポートします!!

北海道自動車共済協同組合

〒065-0030 札幌市東区北30条東1丁目3-2

☎011-721-5233

電話の受付時間 平日 9:00～17:15

FAX:011-721-0801

<https://www.hokujikyo.jp>









阿寒バス株式会社

代表取締役社長

香川 眞 廣

〒〇八五〇〇六二 釧路市愛国一九二番地二〇八  
電話（〇一五四）三七一一二二一

旭化成テクノプラス株式会社

代表取締役社長

森 田 達 也

全国展技術賞並びに  
通産大臣賞に輝く技術



釧路総合印刷株式会社

代表取締役社長

伊 貝 正 輝

〒〇八五〇〇三四 釧路市白金町一九番地二〇  
電話（〇一五四）三三一九二〇一  
FAX（〇一五四）三三一九二〇五

日本事務器株式会社

北海道支社

支社長

米 田 哲 也

〒〇六〇〇〇五 札幌市中央区北五条西六丁目二二  
札幌センタービル十一階  
電話（〇五〇）三〇〇〇一一五七〇

日本の原動力・軽自動車

釧路軽自動車協会

会 長 青 木 健 次

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番一  
電話（〇一五四）五一〇七四五

安全はスピードダウンとゆとりから

釧路交通安全協会

会 長 谷 川 富 成

〒〇八五〇〇一八 釧路市黒金町十丁目五番地  
（釧路警察署内）

一般社団法人釧路地方自動車整備振興会

会 長

坂 根 篤

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番一  
電話（〇一五四）五一五二一六

釧路地方自動車整備事業協同組合

理 事 長

坂 根 篤

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番一  
電話（〇一五四）五一五二一六

Ju 釧路

釧路地方中古自動車販売協会

会 長 高 橋 成 人

副 会 長 木 下 裕 幸

〃 鈴 木 克 己

〃 寛 陽 介

くしろバス株式会社

代表取締役社長

深 谷 晋 也

〒〇八五〇〇六三 釧路市文苑二丁目一番一



軽自動車検査協会 釧路事務所

所 長 増 井 宏 樹

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目二番三  
電話（〇五〇）三八一六一七六七

安全・安心をプロデュース

株式会社 サン高千穂

代表取締役会長 江 尻 剛

〒〇〇三〇〇七 札幌市白石区本通一六丁目北一番二十号  
電話（〇一一）八六五一三三四四

一般社団法人 釧根自動車協会

会 長

近 藤 伸 也

専務理事 池 本 裕 祥

課長代理 菅 原 里 奈

業務係長 北 川 喜 一

業務主任 弓 場 夏 子

経理主任 藤 田 育 久

業務係 堀 川 裕 斗

〃 久 田 美 由 貴

標板交付係 荻 原 和 美

総務経理係 濱 屋 良 太

しんくみ

釧路信用組合西港支店

支店長 網 田 篤

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通五丁目四番一  
電話（〇一五四）五一〇八一  
FAX（〇一五四）五一〇八二二

公益財団法人

釧根地区交通育英会

理事長

近 藤 伸 也

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番一  
電話（〇一五四）五一三二五四  
（釧根自動車協会内）

釧根地区ハイヤー協会

会 長 近 藤 伸 也

副 会 長 中 田 聡

〃 寺 澤 昭 彦

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番一  
電話（〇一五四）五一二一七三

一般社団法人 釧根地区トラック協会

〒〇八四〇〇九〇六 釧路市鳥取大通六丁目一番四  
電話（〇一五四）五一三二〇八

会 長

赤 石 美 枝 子

副 会 長 篠 田 巖

〃 松 實 秀 樹

〃 益 子 良 弘

専務理事 野 村 和 人

釧根地区レンタカー協会

日産レンタカー

ニッポンレンタカー

道東レンタカー

トヨタレンタカー

旭レンタリース

根室自動車工業

オートワン・イナガキ

ホンダカーズ西釧路

駅レンタカー

摩周観光レンタカー

タイムズレンタカー

オリックス自動車

ナカイレントリース

北武レンタリース

トムソーヤレンタカー

田中自動車工業

東 北 海 道 ホ ン ダ

カ ナ モ ト

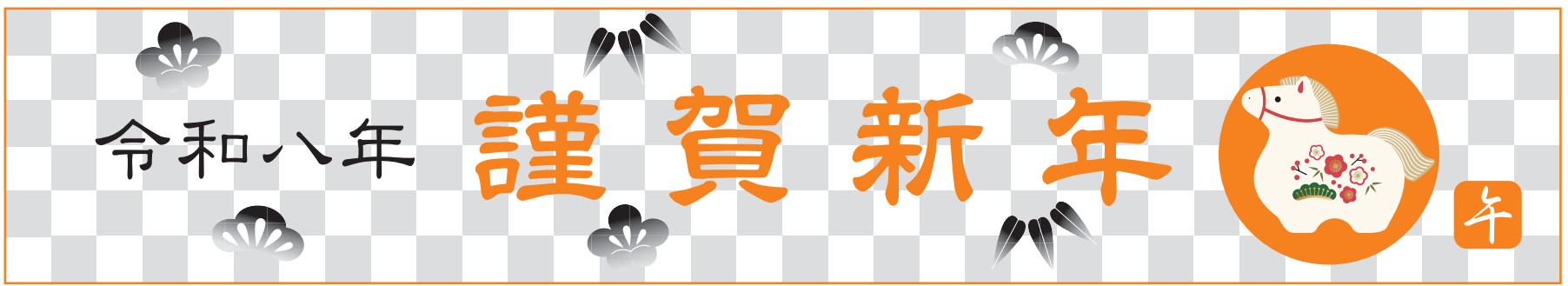
東 部 ダ イ ハ ツ

トヨタモビリティ釧路

ワ ー ル ド ネ ッ ト

（順不同）





中標津地方自動車  
整備事業協同組合

代表理事 長 渕 誠  
副理事長 松 實 秀 樹  
局長 大 畠 裕 二  
局長 一 色 政 夫

〒061-0333 標津郡中標津町東二十二条南一丁目一番地  
電話 (0153) 721-2744  
FAX (0153) 721-3023

一般社団法人  
日本自動車連盟釧路支部

支部長 坂 根 篤

〒084-0906 釧路市鳥取大通八丁目二番十一号  
電話 (0154) 511-2167

株式会社  
まつばら

代表取締役 松 原 宏 樹

〒082-0300 河西郡芽室町本通二丁目十九  
電話 (0155) 621-2130  
FAX (0155) 621-3130

根室自動車  
整備事業協同組合

代表理事 野 潟 龍 彦  
副理事長 川 村 寛  
筆頭理事 半 田 豪  
事務局長 高 橋 隆 一

〒087-0037 根室市穂香九八番地  
電話 (0153) 331-6430  
FAX (0153) 331-6433

ワールドオートプレート株式会社  
WORLD AUTO PLATE Co., Ltd.

光るナンバープレート®のパイオニア  
ワールドオートプレート

ホームページは  
こちらから

一般財団法人  
北海道陸運協会 釧路支部

支部長 池 本 裕 祥

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目一番一号  
電話 (0154) 511-3844  
(釧根自動車協会内)

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 特約店

株式会社三ツ輪商会  
(企画事業本部情報事業部)

〒084-0905 釧路市鳥取南五丁目二番五号  
電話 (0154) 611-5160

三ツ輪物流株式会社

代表取締役社長 菊 池 秀 之

〒084-0913 釧路市星が浦南四丁目一番一〇号  
電話 (0154) 511-0235

急がない 忘れない  
SOS SPEED DOWN SEAT BELT

『ストップ・ザ・交通事故死』

釧路市交通安全指導員会

〒085-8505 釧路市役所市民生活課生活安全担当  
電話 (0154) 331-5151 (代)

会長 一ノ戸 昇  
副会長 高 橋 勲  
監事 鎌 田 政 雄  
竹 内 享 二  
平 間 靖 章

北海道自動車共済協同組合

本部 札幌市東区北三十条東一丁目三番二号  
電話 (011) 721-5233

北海道自動車共済協同組合釧路支所  
電話 (0154) 511-7900

根室自動車整備事業協同組合

電話 (0153) 331-6430

阿寒自動車工業株式会社

電話 (0154) 661-3912

有限会社 今井総合保険システム

電話 (015) 481-2261

全建総連釧路建設ユニオン

電話 (0154) 251-7585

株式会社 北海道ジャパンサポート

電話 (0154) 381-5111

山 田 車 輜

電話 (0154) 401-2187

株式会社 イーライフ

電話 (0154) 381-4866

M S T 保 險 事 務 所

電話 (0154) 651-5312

N A S V A

独立行政法人  
自動車事故対策機構

釧路支所

支所長 佐 伯 勝 幸

〒085-0008 釧路市黒金町七丁目四番地一  
太平洋興発ビル二階  
電話 (0154) 331-7021

北海道運輸局釧路運輸支局

〒084-0906 釧路市鳥取大通六丁目二番十三号  
電話 (0154) 511-2522  
FAX (0154) 511-0224

支 局 長 矢 島 修

首席運輸企画専門官 (総務企画担当) 田 中 斉  
首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当) 佐 藤 彰 也  
首席陸運技術専門官 (検査整備保安担当) 佐 々 木 俊 智  
首席運輸企画専門官 (登録担当) 松 田 順 一  
首席運輸企画専門官 (船舶・船員担当) 赤 坂 啓  
首席運輸企画専門官 (運航業務監理官) 山 田 元 洋  
首席海事技術専門官 (船舶検査官) 山 本 久 志